

事案名	川崎市の事案（神奈川県14-12）
分類	発見・被災・掃海等処理 その他
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学室担当者ノート「戦後における旧軍毒ガス弾等の処理の状況(14.6)」〔1〕</li> <li>・「陸軍登戸研究所の真実」2001年1月25日〔2〕</li> <li>・『東京新聞』平成10年8月14日〔3〕</li> <li>・メディアスくらしの窓新聞社ホームページ〔4〕</li> </ul>
資料内容概要	<p>昭和37年5月に、市内2ヶ所の民間工場でガスボンベ9本とイペリットボンベ12本が発見された。また、同市内には、戦時中に第九陸軍技術研究所（登戸研究所）があり、毒ガスの研究をしていた。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和37年5月25日に、神奈川県川崎市内の民間工場で旧軍ガスボンベ9本が発見された。検知・内容物なしと記載されている〔1〕。</li> <li>・昭和37年5月に、神奈川県川崎市内の民間工場でイペリットボンベ12本が発見されたと記載されている〔1〕。</li> </ul> <p>その他情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦時中に、市内に第九陸軍技術研究所（登戸研究所）が存在し、同研究所では毒ガスの開発・製造を行っていたとされる〔2〕〔3〕。なお、現在同研究所跡地は、教育機関の施設となっている〔4〕。</li> </ul>